

SDGsを取り入れた事業計画書

磯田電材株式会社

1 企業・事業概要

① 企業概要と理念

当社は創業以来60年、電設資材の卸販売をしている。インフラに欠かせない電気設備の販売を通し、安全で快適な生活環境及び職場環境の整備に寄与している。

また、当社では、企業理念として「社員と社員の家族の幸福を実現する」を掲げている。SDGsのゴールでも触れられる技術革新の成果を受発注業務に取り入れることなどが、社員の働きやすさに寄与するとともに、取引先等を含めた社会的価値の協同した創造にもつながると考えている。

② SDGs事業の概要

1. 電機資材発注システムのアプリ開発

従来の電気設備工事においては、電機資材の発注を電話やファックスにより受けていた。この方法では、発注受注業務の双方に携わる担当者の時間的負担になるとともに、電話でのやり取りによる伝達ミスや、それによる工期遅れ、返品在庫や資材廃棄の発生等が課題となっていた。小規模事業者等も多い電気工事の現場でのIT活用には障壁も多いところであるが、スマートフォンで使用可能な受発注のシステムを開発することで、受発注業務の効率化を達成し、技術革新の成果を電気設備工事の領域でも取り入れていく。

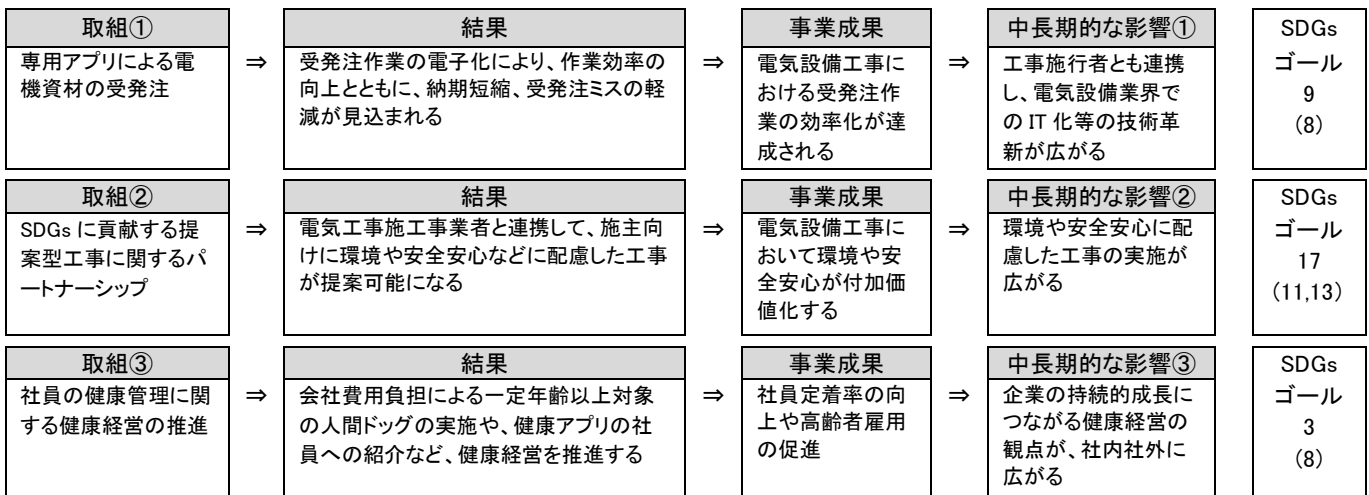
2. パートナーシップの構築

弊社は電気工事事業者向けに機器販売業を行っており、電設資材に関する一定の知識はあるが、施主に向けた直接の提案を行うことは困難であった。そこで、環境配慮型の電気設備工事や、防犯設備の定期的整備に関して、施工事業者と連携しながら、提案型の工事ができるパートナーシップ体制を構築し、環境や安全安心を価値に据えた電気工事の普及を目指す。

3. 社員の健康管理

弊社では社員の幸福の実現を経営理念として掲げており、SDGsでも言及される場所の健康経営を社内のみならず、顧客や社会に対する責任の一環と考えている。一定年齢以上の社員には、会社の全額費用負担による人間ドッグを実施するとともに、各種健康管理アプリの推奨など、社員向けの健康増進策を継続的に実施する。

2 SDGsとの紐づけ



3 経済的価値創出との関係

「発注システムのアプリ開発」については、発注する側にとっても効率化だけでなく、スマホで作業できることによる簡便化も達成されるため、メリットを理解してもらえれば受注増につながるものと期待できる。社内においても受注作業に伴い発生していた作業時間が相当程度に短縮されることが見込まれ、担当者はパートナーシップに提案型工事等の他のSDGs事業に取り組むことができると見込まれる。また、本業種において同様のサービスを行っている事業者は少なく、顧客の利便性にも繋がる仕組みのため、弊社のIT技術活用での優位性が達成される。

「パートナーシップ」については、環境や安全安心などのSDGsの達成に貢献する観点を価値として、施工パートナーと協力しながら施主等に提案していくことで、弊社の電機資材に関する知識を有効に活用し、選択肢として提示していくことができる。

4 事業展開(スケジュール)

① 全体のスケジュール

取組①「アプリ開発」は、11月から社内検討を開始、12月から顧客を選定してテスト運用を開始する。2022年1月より本稼働を目指す。また、電子カタログ閲覧や、メーカーサイトへのリンクなど、ツールを追加していく。

取組②「パートナーシップ」は、パートナーシップ施工店と協力関係を築き、2021年11月より、マンションHA（オートロックシステム）の提案及び受注活動を本格化していく。

取組③「社員の健康管理」は、2021年下半年期の社員の人間ドックの受診状況を一括管理し、受診遅れや受診忘れの防止をしていく。また、健康不安の受け皿として、契約保険会社の健康相談窓口を社員に紹介していく。

	2021年		2022年										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
取組①	→ (テスト運用)		→ (本稼働)										
						→ (機能追加)							
取組②	→												
取組③	→												

② 各取組の実行者一覧

項目	取組の概要	責任者・担当者	
		責任者	担当者
取組①	アプリ開発	磯田 篤	片山 尚久
取組②	パートナーシップ	磯田 篤	卜部 哲也
取組③	社員の健康管理	磯田 篤	磯田 聡